たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

改築推進工法で既設管を取壊しながら新設管を布設

工事件名
大井川用水（二期）
農業水利事業瀬戸川左岸
幹線水路整備工事
工事場所
静岡県藤枝市稲川地内
発注者
関東農政局大井川用水
農業水利事業所
元請会社
株式会社熊谷組
工事概要
改築推進工　ＣＭＴ工法
φ一三五〇㎜
Ｌ＝四五・三ｍ
廃止管きょ充填工
エアモルタル注入
Ｑ＝五一・一㎥

当現場は、農水路の老朽化に伴い補修及び改修する計画です。施工区間は、補修区間が四六六・八三ｍ、布設替区間一一六・四二ｍ、推進区間四七・三七ｍになります。

布設替区間のうち一部既設管路が住宅地の生活道路の直下にあり、開削工法を適用すると地域沿線に多大な環境負荷を与えるため、既設管路を取り壊しなら新設管路を布設する改築推進工法が採用されました。

先ず既設管内をエアーモルタルで充填した後に既設管を前面または一部を切削・破砕しながら新設管へと敷設替えし、掘削土及び破砕片は吸引排土方式で回収する工法です。施工条件としまして、土質は地山（砂礫土）と埋戻し土（砂質土）、既設管はφ一二〇〇㎜、基礎コンクリートはφ一八〇度巻き及び栗石基礎になっており、また瀬戸川付近ということで地下水も多く非常に厳しい条件となっていました。新設管路と既設管路の位置関係ですが、当初設計では既設管の管芯に新設管の管天が平面位置において直下でしたが、調査した結果、中心位置が大きくずれており施工検討をしました（図1参照）。

上下左右で切羽状況（地山部・構造物部分）が異なり、切羽抵抗が均一ではないので方向制御管理が困難ではないかと懸念されましたが、掘削添加剤・スピード・切羽圧等慎重に管理し施工した結果、切羽バランス・排土状態・施工精度も良好に確保でき、高精度で到達することができました。

既存構造物撤去時の鉄筋の切断回収に関してですが、既設管破砕の原理は押付け力と力カッターヘッドの回転力の組合せで特殊コンクリートを圧壊し、内部の鉄筋を切断破砕するものです。切断された鉄筋は泥土化した掘削土と一緒にスクリューを介して掘進機内のずりバケットに排土され、そこで選別回収します。実際回収された鉄筋は五〇～二〇〇㎜程度の長さでした。排泥管口径以上の長さもあり、二、三回程度排泥管立ち上がり部分にて閉塞しましたが、それ以外は問題なく、日進量は平均一本（二・四三ｍ）で当初の予定通り掘進することができました。

また、到達掘進機回収後にビットを確認した所、ゲージカッターが一一㎜摩耗し、既設管破砕に貢献した最外周側のフェイスローラービットも同じく一一㎜摩耗していました。

今回、当工法は全国でも二例目で前回よりも径が大きくなった施工でした。今回の結果より今後は既設構造物の材質形状等からビットの数量及び配置を推定し、また機内よりビット交換可能なＣＭＴ工法の特徴を活かす事によって、さらなる飛躍に繋がると思います。

最後になりますが、（株）熊谷組の遠藤所長をはじめ現場担当者様には、工程管理が厳しいなか他社との調整や現場環境を整えて頂きありがとうございました。また、工期短縮・良品質工事にご協力頂いた協力会社の皆様、誠にありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

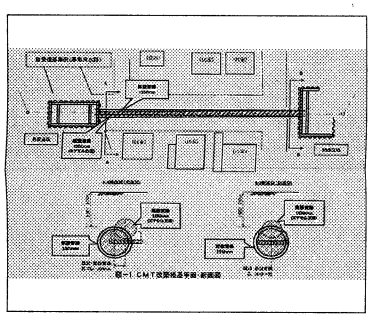
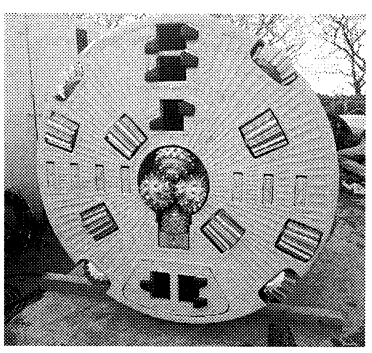


図　1



静岡支店　工事部
課長　畠山　薫

一五〇億企業へ新体制

・社長交代による新体制が二月の取締役会で協議され、三地区制の営業体制で各地区五〇億、三地区一五〇億企業への道が開かれました。

・始めに西日本地区担当常務として大阪支店、九州支店に於いて陣頭指揮の任に就く加藤常務取締役に五〇億完工一番乗りへの抱負を記して頂きました。

・次号五月号は中日本地区担当奥山常務取締役、六月号は東日本地区担当川邊常務取締役にそれぞれの地区での抱負を記して頂く予定です。

たいよう新聞編集委員長
監査役　友村　恒彦

地区五〇億完工一番乗りを目指して

完工高一五〇億企業に向けて新体制で発進致しました。加藤行正新社長のもと、全国を三地区に分け、東京・長野支店を東日本、名古屋・静岡支店を中日本、大阪・九州支店を西日本。そして私は、西日本担当常務として陣頭指揮を振るう事になりました。よろしくお願い致します。

今年の新年号でも記しましたが、昨年還暦を迎え、この五一期は大きな節目の期として六十代初の船出となりました。節目節目を大切にまずは、西日本が完工高五〇億一番乗りを達成し、全国のリーダー的地区にする所存です。幸い、他の担当常務と異なり、慣れ親しんだ大阪支店での勤務となりました。九州支店も発足前は福岡営業所、佐賀営業所、熊本出張所と大阪支店の営業範囲、状況も良く判っていますし、清田九州支店長との連携もスムーズです。しかし、完工高を二〇二〇年アテネの聖火が東京にくるまでに五割増しにするのですから、並大抵では無いことは重々承知です。目標達成には、人材確保が最重要と考えます。大阪・九州支店では、ここ三年で二十代前半の職員が一人から七人に増えました。横のコミュニケーションも取り易くなったと思います。それぞれの事務所に活気が出てきました。さらなる人材確保そして社員一人ひとりのモチベーションを向上させ、生産性を上げられる様、育成に力を注ぎたいと思います。

何より、受注拡大。中でも大阪支店は、第四九期から三年連続完工高達成率ナンバーワンを続けており、今期も継続中ですし九州支店も同様です。ＴＲＤ、ミニウォール等の壁工事、ＭＪＳやＰＪＧ等の高圧噴射を起爆剤にＴＳＣや矯正工事等の宅盤関係、ＮＳＰＣやＲＢＰウォール等の軽量盛土や法面補強、さらに太陽光パネル基礎や、土壌汚染浄化など幅広い工種を営業展開し、既に成果を上げ始めています。これから先は元請け受注にも挑戦し、受注拡大に努めます。

新年号と重複しますが、朝ドラヒロインの「立ち止まらない、歩き続ける、諦めない、逃げない。」に加え、劇中にあった四つ葉クローバーの花言葉、「勇気・愛情・信頼・希望」を心情としたい。

私事ではありますが、今年七回忌を迎える母と三回忌を迎える父が二人三脚で立ち上げた園流新舞踊の会が三〇周年を迎え、先日名古屋市の劇場で記念公演を行いました。人が集まるところに喜びあり。観客、スタッフ総勢六〇〇人程が集い大成功でした。要因は会員及び関係者の努力はもちろんですが、家元の心情であった「こころのふれあいを舞にたくして」だったように思えてなりません。そして、若いお弟子さんたちが増え、その活気も大きかったと思います。

地区のトップ責任者として完工五〇億一番乗りという目標を大きく持ち、職域の仲間を大切に、若い力とベテランとの融合。そして九州支店と力を合わせて名実ともに一五〇億企業のセンターになっていくことをお約束し、新体制の抱負とさせて頂きます。

西日本担当常務取締役兼
大阪支店長　加藤　敏彦

共生共遊

・一月、新年を迎え心あらたなり。
・二月、太洋の期首を迎え心あらたなり。
・三月、東、中、西、三地区新生太洋の体制が決まり心あらたなり。
・四月、新入社員を迎え、株主総会を迎え、新リーダーの誕生心あらたなり。
・五月には創業五九年、二一日（大安吉日）創立記念式典が催されます。ここでもまた心あらたなり。今、若竹がすくすく伸びています。竹を代表する孟宗竹は、伸びる時は一日一米も伸びると言います。太洋もこの一〇年充電期間としてひたすら力を蓄えてきました。伸ばす時は一気に伸ばすと三地区体制の採用。東、中、西地区、各五〇億完工の一番乗りを競っていただけることでしょう。しなやかな竹の特長は、常に緑を絶やさず強風には腰を折って風を避ける。しなやかさを支えるのは多くの節。太洋も多くの人財が一つ一つの行事を大切に節目の度、心あらたなりと社業を盛り立ててきました。
・ＴＲＤ日本一を目指し二〇年。ＣＣＣ、ミニウォール工法を育て三工法の陣容を固め壁工事日本一に目標を昇格させました。ＲＢＰウォール沖縄、ＴＲＤ北海道で施工中です。日本列島南から北まで施工体制が整いました。
・今期二～四月、新鋭地盤改良機、使い勝手が抜群に良いテレスコＴＫ-５５０を購入し設備投資も怠らず進めてきています。
・新入社員九名の新戦力も加わり施工管理スタッフも充実、新鋭機加入で機動力も充実してきています。五一期こそ反転攻勢の時と新リーダー共々誓いあいたいものです。創立記念式典、一年一度は皆んなで集まろう、楽しみにしています。

顧問　豊住　満

声援

四月、新年度を迎えひと月が経とうとしています。職員の皆様日々の業務活動お疲れ様です。

三月の終わりの日曜日、趣味である釣りに行った時の話を少しさせて頂きます。春になり久しぶりの釣りを楽しもうといつも乗る船宿に到着すると、船長から今日はお客さんが多いから宜しくと言われ「あ～、今日はおそらく釣りにならないな」と思いました。暖かくなると家族連れやカップル等ビギナーが多く乗船するため、隣近所同士で糸や針が絡んで、おまつりしてしまう事が多いからです。船長から今日は真ん中に座ってと言われ着座すると、左には大学生のカップル、右には今春大学を卒業した男女四人のグループが座りました。出船前に船長から釣り方のレクチャーがあり、いざ出船。釣り場につくと船長の掛け声でスタート。一投目、もの数十秒で引きがあり一匹目をゲット、両隣の女子からすごいとの歓声を浴び、いささか気恥ずかしくなりました。しかし二投目、やっぱり早くもおまつりです。絡んだ糸を解きながら話をすると、四月から大手鉄鋼メーカーに就職が決まり、勤務地は入社してからの発令で、関東か地方かわからず少し不安な様子が伺えました。就職活動の話や、社会に出てからの希望や期待等、短い時間でしたがいつになく楽しい一日でした。

四月五日、東京支店工事部に二名の新入社員が配属になりました。彼らも先日会ったグループ同様、社会に出る事に不安と期待を胸に入社日を迎えたことと思います。彼らが数年後、当社に入って良かったと思えるよう当社理念の「働いてよかった職場づくり」を実践しなければと考えています。

東京支店は、残念ながら前期・前々期と目標達成に届きませんでした。しかし、今期は主力工種ＴＲＤ工法の大型物件やＭＷ工法、浅深４軸工法の受注も決まっており、さらに環境部が主体となる土壌浄化工事も着々と受注を重ねております。今期こそ目標達成に向けて営業部員一同努力して参ります。

「建設業は受注産業、受注が無ければ完工も無い」奥山支店長が日頃私に言う言葉です。工事・開発・環境・営業の全部署が目標達成に向けて一丸となり、新しい仲間と共に希望のある支店を目指します。

最後になりますが、職員・職域の皆様のご支援・ご協力をお願いすると共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

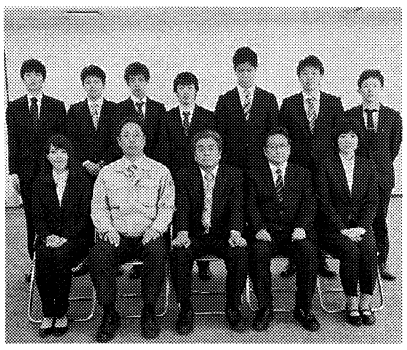
東京支店　営業部
部長　名和　義恭

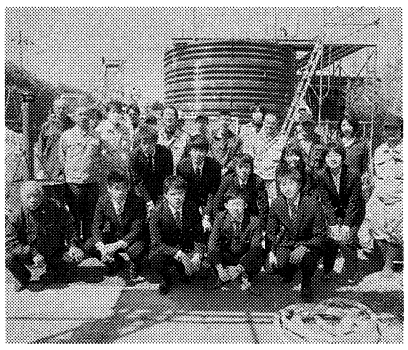
平成二九年度　入社式

平成二九年度入社式と新入社員研修が四月三日と四日の二日間にわたり実施され、九名の仲間が加わりました。

四月三日の入社式では伊藤社長、加藤専務、髙田取締役名古屋支店長からのお祝いの言葉、辞令交付、職員の紹介があり、新入社員からは力強い入社の決意がありました。その後の新入社員研修では研修担当者から、会社の事業内容、社内規程の説明、当社の特徴とする工法説明、安全講習、安全運転に関する講習を行いました。

四月四日は神守研究開発センターにて豊住顧問の講話の後、恒例となりました苗木の植樹をセンター職員と共に遷庭園で行いました。



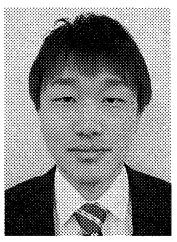


現在は配属先にて業務を行っています。神守研究開発センターの遷庭園に植樹した苗木と共に、新入社員が成長していくことと今後の活躍を期待します。

また、新入社員の方を四月号、五月号の二回にわたり紹介して行きます。

管理本部　総務部
部長　野下　隆雅

新入社員紹介



皆様はじめまして。この度、名古屋支店工事部に所属になりました、吉川達也と申します。不安と緊張がある中、四月三日に入社式が行われました。伊藤社長から辞令を頂いた時、これからは学生ではなく太洋基礎工業株式会社の一員となって会社・社会に貢献して行くのだと実感しました。

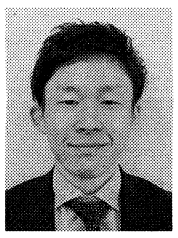
伊藤社長をはじめ、先輩方による講習を受けました。不安と緊張をしている私たちに優しく接して下さり、とてもリラックスした状態で講習を受ける事ができました。

講習では、社会人の心得と５つのルールを学びました。講習を受けて社会人としての心得を意識して５つのルールを守って仕事をこなして行きたいと思いました。技術講習では、当社が行っている多くの工法の特徴を説明して頂きました。一つでも多くの工法を身に付けて会社に貢献できる様に日々努力して行きます。

神守研究開発センターでは、ミカンの苗木を植樹させて頂きました。このミカンの苗木のように私も成長できるように日々努力して行きたいと思います。

まだまだわからないことも沢山あり、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚え、一生懸命努力して行きますので、ご指導の程、よろしくお願いします。

名古屋支店　工事部
吉川　達也



はじめまして。この度、名古屋支店開発部に配属になりました槇朋之と申します。出身は岐阜県岐阜市です。趣味はバスケットボールをすることと観戦することです。主に海外のバスケットボールリーグの試合を観ることが多いです。今でも岐阜の社会人のチームに所属しているので週に一回はバスケをしています。

四月三日に本社にて入社式がありました。伊藤社長から辞令を頂いたときは、新しい環境で働くことになるのだと強く実感しました。今までと違う環境で生活していくことに不安を感じましたが、多くの先輩方から激励のお言葉を頂いたので精一杯頑張らなければ行けないなと思いました。

入社式の後の研修では、会社のルールや講話、交通安全などの重要な話を聞くことができました。自分の生活や行動に責任を持たなければならないと感じました。今まではお金を払って教えてもらっていたのを、お金をもらって働かせてもらっているので学生のような気分を捨てて社会人としてしっかりとする必要があると思いました。これから分からないことが沢山あると思いますが、日々勉強を心掛けて一生懸命努めていきますので、どうぞご指導の程をよろしくお願い致します。

名古屋支店　開発部
槇　朋之

ひとり言

・結婚五〇年、子供四人、孫一〇人でささやかに極々身内の金婚式を考えていましたが、山口花著、新刊本、犬から聞いた素敵な話、帯付に喜びはかけ算、悲しみはわり算を見て平素親しくさせている方にも私共家族の喜びをかけ算として共有して戴ければ幸いと少し広げて祝宴を計画し直し招待状の作成に入りましたが、世の中難しい事が多いもので私より年長者でおひとりの方はまだしも齢若くて伴侶を亡くされている方もいてそんな方にはご招待するにためらいもし悩ましい思いも致しました。

・祝宴先のホテル係員が金婚式はまれですね、ご夫婦共に五〇年は余程心掛けの良い人生を送ってこられたのでないですかと気恥ずかしいお褒めの言葉とも受け取れる言葉を戴きました。これから先も長寿社会が進んでいくのであろうか、昨今の晩婚時代、仮に四〇歳で伴侶を得て金婚式は九〇歳、ホテル係員の言う様に金婚式はまれですが、時代の趨勢かと考えたりしました。常々嬉しい事、楽しい事は人と共有すれば倍増する。辛い事、悲しい事は人と共有すれば半減するを信条としてきました私にとりまして多くの出席者から、あとしばらく家族、職域の為に働きなさいと大いなる励ましを戴き、喜びはかけ算、四倍にも五倍にもなりました。感謝感謝の宴でした。

顧問　豊住　満

共済会だより

☆新しい仲間

四月三日
吉川　達也　名古屋支店　工事部
槇　朋之　名古屋支店　開発部
横田　智弘　東京支店　工事部
井ヶ田　七海　東京支店　工事部
竹内　隆浩　大阪支店　工事部
大竹　有紗　大阪支店　工事部
森野　友揮　九州支店　工事部
李　賢敍　管理本部　総務部
伊藤　太優　神守研究開発センター　製作課

三月三一日
久野　章宏　名古屋支店　環境部
増田　光信　名古屋支店　調査部
高山　光司　九州支店　熊本営業所

☆ご苦労様でした

二月二七日
豊住　将豊　神守研究開発センター　管理課

☆ご出産おめでとうございます。

三月二八日
真島　和花ちゃん（のどか）　長女　長野支店　新潟営業所　真島　健

☆お悔やみ申し上げます

三月一九日
北村　良一　御尊父　名古屋支店　岐阜営業所　北村　守

三月三〇日
奥村　美義　御尊父　名古屋支店　工事部　奥村　誠　合掌